

## 【認知症対応型共同生活介護用】

## 1. 評価報告概要表

作成日 平成21年 7月28日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0572609105
法人名	有限会社 福寿
事業所名	グループホーム 福寿草
所在地	秋田県大仙市福田字川原道下55-1 (電話)0187-69-2910
評価機関名	社会福祉法人 秋田県社会福祉事業団
所在地	秋田市御所野下堤5丁目1番地の1
訪問調査日	平成 21年 7月 24日

## 【情報提供票より】(平成21年6月24日事業所記入)

## (1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成) 15年 12月 15日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数計 18 人
職員数	17人 常勤 16人, 非常勤 1人, 常勤換算7.7人

## (2) 建物概要

建物構造	木造一部鉄骨 造り
	1階建ての ~ 階部分

## (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	18,000~20,000 円	その他の経費(月額)	5,000 円	
敷金	有( 円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	200 円	昼食	300 円
	夕食	300 円	おやつ	2回で200 円
	または1日当たり 円			

## (4) 利用者の概要(平成21年6月24日現在)

利用者人数	18名	男性	5名	女性	13名
要介護1	4	要介護2	9		
要介護3	4	要介護4	0		
要介護5	1	要支援2	0		
年齢	平均 83歳	最低	66歳	最高	92歳

## (5) 協力医療機関

協力医療機関名	仙北組合総合病院 柳田医院 仙北歯科医院
---------	----------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

縫製工場をリフォームした2ユニットの事業所は、広い共有空間があり、事業所全体にゆとりが感じられる。ユニット間は廊下で繋がり、自由に行き来することができる。職員から募集した「ありがとう たった一言 大きな愛」を今年度のテーマとして掲げ、様々な工夫をしながら日常のケアの中で具体化している。玄関掃除や洗濯物たたみ、畑作業など、利用者一人ひとりが役割を持てる場面を日常的に作っている。特に食事準備では、利用者が慣れた手つきで分担しながら食材の下ごしらえを行っており、職員からは「ありがとう」の言葉が何度も聞かれた。代表者は人材育成を重要視しており、「教育研修委員会」を設置して各種研修への参加や伝達研修を行い、サービスの質の向上に積極的に取り組んでいる。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価(平成20年7月22日)の要改善事項はなし。 今回の自己評価に対する取組み状況(関連項目:外部4) 代表者は職員に資料を配布し、自己評価や外部評価の意義について十分な説明を行っている。職員全員が自己評価したものを管理者が取りまとめ、家族等も閲覧できるようにしている。外部評価結果後は職員全員で勉強会を設け、サービスの質の向上に積極的に取り組んでいる姿勢が伺われた。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議では写真やビデオでホームの活動状況を紹介し、より分かりやすく理解してもらえるよう努めている。委員の方々との意見交換も活発に行われ、よりよい運営やサービスに繋がっている。会議録には意見交換の内容が詳細に記録され、ホームの職員も全員が閲覧し、よりよい運営やサービスに繋がられるよう情報を共有している。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 写真やホーム便り、日常の様子を綴った交換ノートで、日々の暮らしを家族に知らせている。交換ノートには家族からも意見や要望、感謝のコメントが記入されている。玄関に意見箱を設置している他、重要事項説明書に第三者を含めた苦情受付窓口や担当者が明記されている。家族から意見や苦情があった場合は、その都度申し送りや職員会議で取り上げ、幹部職員以外の職員とも話し合いの場を設けた上で、回答する体制が作られている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) ホーム周辺の散歩や近所のスーパーに出掛け、日常的に声を掛け合っている。ホームの納涼祭は、毎年地域の親子会や青年部の方々と協力しながら実施している他、地域の文化祭(ホーム専用のブース有り)に作品を出品するなど地域との交流を深めている。

## 2 . 評 価 報 告 書

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>1.理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念  地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	家庭的な雰囲気の中で、いつまでも自分らしく自由に暮らせるよう、敬愛の心をもって対応することを常に心掛けている。特に今年度は全職員から募集したテーマの中で最も投票数が多かった「ありがとう たった一言 大きな愛」を独自の理念として掲げ、地域密着型サービスの意義を職員全員で確認している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み  運営者と管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員全員で作り上げた事業所独自の理念は、ホール中央の見やすい場所に掲示されている。管理者は、毎朝の申し送り、毎月の職員会議などで具体的な取り組みについて確認・助言をしている。職員も理念の具体化を意識した対応を心掛けている。		
<b>2.地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい  事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	ホーム周辺の散歩や近所のスーパーに出掛け、日常的に声を掛け合っている。ホームの納涼祭は、毎年地域の親子会や青年部の方々と協力しながら実施している他、地域の文化祭（ホーム専用のブース有り）に作品を出品するなど、地域との交流を深めている。		
4	7	評価の意義の理解と活用  運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	代表者は職員に資料を配布し、自己評価や外部評価の意義について十分な説明を行っている。自己評価は全職員が個々に評価票を記入し、管理者が取りまとめている。また、外部評価の結果を基にして職員が勉強会を開き、自分たちのケアの見直しや確認をしながら具体的な改善策を話し合っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議では写真やビデオでホームの活動状況を紹介し、より分かりやすく理解してもらえるよう努めている。委員の方々との意見交換も積極的に行い、よりよい運営やサービスに繋げていけるよう努めている。会議録も整備され、職員全員が閲覧し内容を確認している。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>大曲仙北市町村圏組合の介護保険事務所や、大仙市仙北総合支所の担当課と連絡を取り合ったり、定期的に足を運んでいる。今年度は、新型インフルエンザ予防対策に係る情報交換も行った。</p>		
<b>4.理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月の請求書送付の際、日常の様子を綴った交換ノート（返信用封筒同封）や写真、ホーム便りなどで日々の暮らしぶりを知らせている。又、家族の面会や、電話があった場合にも日常の様子や健康状態を伝えている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見箱を設置している他、家族から意見や苦情があった場合は、その都度申し送りや職員会議で取り上げ、幹部職員以外の職員とも話し合いの場を設けた上、回答している。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>異動や離職については、利用者・家族への説明を十分行い、不安にならないよう配慮している。結婚・出産による離職があったが、利用者・家族へ説明したところ、むしろ職員を気遣っていただき、和やかな状況の中で送別することができた。新しい職員が入る場合も、信頼関係ができるまでゆっくり丁寧に対応するよう努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5.人材の育成と支援</b>					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、運営者自身や管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職階に応じた研修計画を立て実施している。研修終了後は報告書を提出し、職員会議で伝達研修を行っている他、全職員が回覧し確認サインをしている。又、管理者が日常的にOJTを実践したり、社長が自己研鑽の意義について説明したりするなど、各種研修への参加も積極的に奨励している。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、運営者自身や管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地区のグループホーム連絡会の他、全国・県のグループホーム協議会に入会し、研修にも積極的に参加している。また、事業所間で相互訪問し、勉強会を開催するなど交流の機会を設け、サービスの質の向上に努めている。</p>		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1.相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう本人又は家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>利用者が無理せず生活できるよう、本人・家族と相談しながらケアプランを作成している。利用者が心理面で不安を抱かないよう、個々のペースに合わせた対応を心掛け、職員との信頼関係を築く努力をしている。</p>		
<b>2.新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>利用者は人生の先輩であるという考えを職員が共有しており、昔からの風習・山菜料理・畑仕事や花の植え方などを教えてもらう機会を日常的に設けている。日々利用者のペースに寄り添い、笑顔のあるホーム作りに努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1.一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>「したい・やりたい行動隊計画書」に本人の希望を記入し、温泉や食事、買い物などを実施している。意志伝達困難な方については、「もし、この方ならどう思うだろうか」と考えながらケアするようにしている。</p>		
<b>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>アセスメントに基づき、利用者・家族の希望や思いを取り入れた介護計画を作成している。利用者の望んだ生活ができるよう職員全員で意見交換やカンファレンスを行っている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画は3ヶ月毎を基本としているが、日々の行動観察や状況把握を十分行い、必要に応じて見直しを行っている。見直しに当たっては、本人・家族から満足度を3段階で評価してもらい、計画作成に反映させている。</p>		
<b>3.多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>入居後も居宅介護事業所の担当ケアマネージャーと連絡をとりながら、本人・家族の状況に応じた対応を行っている。医療機関への送迎・受診、外食、買い物など必要な支援は柔軟に対応し、個々の満足度を高める支援をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4.本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	看取りに関する指針を含めた医療連携体制概要書が整備されており、利用契約時に本人・家族の希望するかかりつけ医を確認している。かかりつけ医の特定がされない場合は、協力医療機関で対応させてもらうことで同意を得ている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用契約時、医療連携体制概要書を提示し十分な説明を行っている。又、日常会話の中でも、重度化や終末期に関する話題が出た場合は、家族と話し合いの場面を設けている。事業所では、家族・主治医と連携を密にしており、本人の意向を踏まえたターミナルケアの実践例がある。		
<b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1.その人らしい暮らしの支援</b>					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員採用時誓約書を提出している。「ケースファイルは個人情報詰まった大切なもの」という意識を職員全員が持ち、施錠できる場所に保管している。利用者への対応については、人生の大先輩であることを常に念頭に置き、排泄や入浴等、常に声をかけ了解を得てから介助に当たっている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日課は特に設けていない。起床・食事・排泄・入浴等個々の生活リズム・ペースに合わせた対応をしている。代表者から提案された「したい・やりたい行動隊計画書」を活用し、温泉や食事、買い物等本人の希望に沿った支援をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>日常の会話の中で食べたい物を聞き、献立に取り入れられたり、徒歩数百メートルのスーパーに利用者と一緒に出掛け、食材を購入している。準備段階から利用者が関わる場面が多く、訪問当日もジャガイモの皮むき・人参のスライス・もやしの根取りなどそれぞれ得意とする下ごしらえの家事を分担して行っていた。</p>		
23	57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて、入浴を楽しむように支援している</p>	<p>一人ずつの入浴が殆どであるが、時々仲のよい利用者同士と一緒に入ることもある。体が温まると安眠できる方には就寝前の入浴支援も行うなど、曜日や時間帯の設定はせず、個々の希望に応じた対応をしている。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>一日の流れの中で、掃除・食事の準備や後片付け・洗濯・園芸作業等、利用者個々の得意なことを見つけ出し、役割や出番を作る取り組みをしている。</p>		
25	61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>洗濯物干しや散歩、花の水遣り、草取り、買い物やドライブなど個々の希望を聞きながら戸外に出掛けられるよう支援している。今後も「したい・やりたい行動隊計画書」を活用し、心身の活性化につながる取り組みが予定されている。</p>		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに努めている</p>	<p>職員が利用者の動きや居場所の把握に努め、鍵をかけないケアを実践している。(各居室に鍵は無く、玄関のみ夜に施錠している。)</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>年2回(日中1回、夜間1回の想定)火災や地震を想定した避難訓練を利用者と一緒に行っている。通報・避難・初期消火などの訓練を消防署・地域の自衛消防団の協力を得ながら実施している。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>個別管理票(バイタル・食事・排泄・水分・薬等を記録する)を用いて、職員が毎日の状況を把握している。調理師免許を持つ管理者が業務日誌に記録されたメニューを確認し、食事やおやつの栄養バランスについてアドバイスをしている。</p>		
<b>2.その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や臭いや光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ホールには食卓用の椅子とテーブルの他、ソファや畳敷きの長椅子が置かれている。居間には座布団や枕などもあり、好きなところでくつろげるスペースが十分にある。電動マッサージ機がホールに置かれ、隣のユニットの方も気軽に利用できるようになっている。玄関前にも椅子とテーブルが設置され、草花を眺めながらおしゃべりやお茶を楽しむことができる。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>「我が家」という感覚が持てるようにと、居室入り口には表札が掛けられている。写真や手芸品、ベッドや椅子、位牌など本人や家族が希望する物が持ち込まれ、利用者が居心地よく過ごせるよう配慮している。</p>		

は、重点項目。